

会員卓話 小池 正会員

私は日本橋馬喰町で生まれました。私の祖父・小池子一（ねいち）が明治41年に神田餌鳥町（えとりちょう）に歯科医院を開業、明治43年に日本橋区馬喰町3丁目に移り、関東大震災で焼け落ちたので建て直しました。間口二間、奥行き十間という鰻の寝床で昼間でも家の中は真っ暗でした。私はそこで生まれましたが、父は私が2才ぐらの時に馬喰町2丁目の広い家を見つけ引越しました。私が就学年齢になって、父は私を学習院初等科に入れたかったのですが、知人から「あそこは華族学校だから下々の者が入ったら馬鹿にされるだけだ、おやめなさい。」と言われ、東京高等師範学校附属国民学校に入りました。

昭和19年秋頃から空襲が激しくなり、今みたいにスマホもテレビもないのでラジオをつけっぱなしにしていると、番組が突然中断され東部軍管区情報が流れ、その後、空襲警報が鳴りました。近所にあった花王石鹸の本社の地下に退避壕があり、そこに避難します。忘れもしない昭和20年の2月25日に爆撃がありました。消防団の方と思われる方から「ここは危険だから逃げてくれ。」と言われ、母と私と弟2人は代々木の親戚の家に、雪の中を歩いて逃げました。一泊か二泊お世話になり、その後、長野県の知り合いの所に疎開しました。3月10日の大空襲で祖父が建てた木造3階建ての家は燃えました。父はバケツで水をかけて消火を試みたそうです。後で聞いた話ですが、私の幼稚園の同級生の半分が3月10日の爆撃で亡くなったそうです。

疎開中は長野県の地元の小学校に通っていました。8月15日に校庭に集められ、玉音放送を聞きました。「朕(ちん)深(ふか)ク世界(せかい)ノ大(たい)勢(せい)ト帝国(ていこく)ノ現(げん)状(じょう)トニ鑑(かんが)ミ非常(ひじょう)ノ措(そ)置(ち)ヲ以(もつ)テ時(じ)局(きょく)ヲ収(しゅう)拾(しゅう)セムト欲(ほつ)シ茲(ここ)ニ忠良(ちゅうりょう)ナル爾(なんじ)臣民(しんみん)ニ告(つ)ク」後略

昭和天皇の真似です。似ているかどうか分かりませんが、7才の子供には何のことか分かりません。宿舎に帰ると母が戦争が終わったと泣いて喜んでいましたし、父も無事でした。

その後は父が買っておいた吉祥寺の家に落ち着きました。中島飛行機の工場が側にあつたので、機銃掃射で瓦が吹っ飛んでいる状態でした。吉祥寺の家からは中央線に乗って、東京教育大学附属小学校と名前を変えた元の小学校に通いました。現在の筑波大学附属です。小中高一貫のエスカレーターでしたので、何もしなくても高校まで進学できます。大学は日大の歯学部に入りました。お茶の水の駅の側にあるので、授業を抜け出し神保町に通いました。良く通ったのが、東京堂と三省堂、絵を描いていたので信画堂にもよく行きました。一番はまったのが、今は神保町ブックセンターになっていますが、昔の岩波ブックセンターです。私が学生の頃は岩波書店小売り部と言ひ、木造二階建てで、1階が文庫、新書、雑誌、単行本、2階が専門書、学術書でした。入口から入るとお風呂屋さんの番台みたいなのがあり、怖

い顔をした岸さんというおじさんがあたりを見回しています。本を買う時は岸さんの前におずおずと本を差し出します。もっとはまったのがカメラの太陽堂の裏手の「らんぶる」という喫茶店です。そこはクラシックレコードを聞かせてくれます。コーヒーが一杯30円、ミルクが20円でした。一番安いものを注文して半日粘ります。その当時は3Bと言って、バッハ、ベートーベンとブラームスしか聞かせてくれません。昭和38年に卒後し、父の下で働くようになりました。昭和46年に結婚して、今年の5月で50周年になります。

ロータリークラブに入ったのが平成5年。神田RC会員で私の患者の片山敏雄さんから「子クラブ作るから入んなさい。」と勧められ、一人では心細いので西川隆三さんというディスプレイの会社の社長を誘い、一緒にお世話になりました。しかし残念なことに西川さんは亡くなってしまいました。私は入会した途端にロータリークラブにはまり、皆出席を続けました。ホームクラブだけ（メイクアップなし）で7年間全出席致しました。8年目に会長に就任しましたのでもちろん全出席し、とうとう疲れてしまい、9年目には一年間休会をしました。そういう訳で全出席は途切れ、そこからは風の糸が切れたみたいに出席も思わしくなくなりました。特にコロナのせいで足が遠のいていましたが、今日は久しぶりに皆さんとお会いでき非常に嬉しいです。

昔のロータリークラブは旅行が多かったような気がします。ある時、坂部三次郎会員が作られた天文台に行き望遠鏡を覗かせて頂き、火星の衛星や土星の輪を生まれて初めて観ました。大変嬉しかったです。

いろいろためになることを教えて頂き、ロータリークラブには大変感謝しております。

私は6月の末には84才になります。あと何年続くか分かりませんが生きて居る限りお世話になろうと思っております。